

村田大使挨拶 狂言公演（５月２０日（月））

ご来場の皆様、

先月１６日に駐フィンランド日本国大使として着任しました村田隆です。本日の狂言公演の開催を心よりお慶び申し上げます。

主催者の ACT.JT の皆様をはじめ、野村万蔵家九代目当主 野村万蔵様、六世野村万之丞様、本日の司会をされるセイン・カミュ様、そして本日の会場を提供して下さった Oodi 図書館、その他全ての関係者の御尽力に深く感謝申し上げます。

野村万蔵家による狂言は、海外でも広く公演されていらっしゃいます。これまでにカナダ、米国、オーストリア、韓国、フランス等で好評を博してこられました。フィンランドでは２０年前の１９９９年、フィンランドと日本の外交関係樹立８０周年の記念事業としてヘルシンキで公演いただきました。

フィンランドと日本の外交関係樹立１００周年の今年、野村万蔵家には再び当地で６００年前から続く日本の伝統芸能の喜劇を披露していただけることになりました。両国の文化交流と相互理解をより一層促進していただける１００周年にふさわしい機会であり、厚く御礼申し上げます。

１００年を祝う記念行事は今年に入ってから既に多く開催されています。先週はヘルシンキ大学での学術セミナー、国立博物館でのフィンランド日本友好協会主催の催し。また、おととい（１８日）は御神輿が市内を練り歩いた他、昨日（１９日）はロイフブオリ公園の花見祭りで大いに盛り上がりました。

１００年にわたる両国の友好関係の礎となっているのは、芸術、文化を含む様々な分野における人と人とのつながりです。このつながりは、先にご紹介した大学、当地友好団体、そして、本日のような公演を通じた交流も大きな支えとなっています。

日本大使館としても、１００年にわたって築き上げられてきた両国間の確固たる信頼関係をさらに深めながら、両国の関係を、幅広い分野で相互利益につながるようにさらに発展させていきたいと思っています。

本日の狂言では、雷とやぶ医者のお話と伺っています。大変興味深く、ご来場の皆様とともに大いに楽しみたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

（了）